

令和6年度

## 第2回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和7年3月21日(金) 15:00~16:30
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 9名  
中山正典会長 加藤理文副会長 増田千次郎委員  
鈴木敬雄委員 杉山知太郎委員 坪井俊三委員  
西田かほる委員 佐口節司委員 小杉達委員  
事務局 8名  
鈴木教育部長・神谷文化財課長・室内調査G長  
相浦管理G長・石津歴史文書館館長・谷口主査  
森本主事・名倉会計年度任用職員
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
  - 1 開会
  - 2 教育部長あいさつ
  - 3 会長あいさつ
  - 4 審議事項
    - ①寺谷用水関係資料の市指定文化財への指定について  
〔事務局からの説明〕
      - ・これまで継続して調査を続けてきた資料。
      - ・文書群は幾つかの諸家文書から抽出した古文書280点からなる。
      - ・現在、渥美家文書は個人所有であるが、それ以外の所有者は磐田市。
      - ・資料は寺谷用水の由緒書、維持管理や災害対応の記録などの文書群で、400年以上経過した現在も地域住民の生活を支える用水の歴史を知ることができる。  
〔主な質問・意見〕
      - 【坪井委員】
        - ・用水を維持する組合である「井組」の活動を知ることができる良い資料。
      - 【西田委員】
        - ・指定した後の管理方法はどうか。

→(事務局)番号順に並び変えるなどはせず、目録上で分かるようにする。

      - ・寺谷用水関係資料を磐田市指定有形文化財(古文書)に指定する答申書が提出された。
  - 4 報告事項
    - ①特別史跡遠江国分寺跡整備工事の進捗状況について
      - ・整備事業は令和11年度の完成を目指しており、完成後には整備報告書を作成する予定。

- ・令和6年度に進めていた塔跡の復元と東側回廊の造成工事が2月に完成した。令和7年度は未施行部分の回廊と中門の工事を実施する。
  - ・このほか、四阿と燈籠の実施設計が終了した。燈籠は令和7年度に資材調達や発注方法の準備を進め、令和8年度から工事に着手する予定。
  - ・整備工事と並行して、史跡指定地内の土地の買い上げを行い、公有地化を進めた。
- ②国指定史跡新豊院山古墳群の斜面保護対策について
- ・令和4年度から概略設計、予備設計、基本・実施設計を進めてきた。
  - ・今後は、国と県からの補助金を活用しながら令和7、8年度に法面对策工事を実施する予定。
  - ・自然改変区間はジオファイバー工法（法面保護タイプ）、人工改変区間では擁壁形状タイプを用いることを考えている。
- ③国指定史跡旧見付学校附磐田文庫保存活用計画作成進捗状況について
- ・文化庁からの助言により進めてきた指定地内に残る国有地の払下げ手続きが完了した。
  - ・払い下げ地のうち道路部分については道路河川課へ所管替えを行う予定。
  - ・令和7年度は文化庁へ保存活用計画の認定申請を行う予定。
- ④登録有形文化財（建造物）登録候補について
- ・登録申請に向けて調査を進めていた掛塚地区の2件3棟のうち1件2棟については、令和7年1月に文化庁へ登録申請を行った。
- ⑤市指定文化財木造千手観音菩薩立像の修復について
- ・市内定光寺に所在する仏像で、令和6年度から2年計画で修理を進めている。
- ⑥市指定文化財高木秋葉山常夜燈の修繕について
- ・市内高木に残る秋葉山常夜燈の修繕を行った。
- ⑦市指定文化財三番組秋葉山常夜燈の修繕について
- ・市内福田に残る秋葉山常夜燈の修繕を行った。
- ⑧市指定文化財袴田家のマキの樹勢について
- ・天然記念物部会の芹澤委員の指導のもと2月に樹勢回復作業を実施した。
  - ・県指定文化財甲塚のクロガネモチは、枯れ枝が10月に落下したため、県に現状報告を行った。
  - ・県から樹勢回復と安全確保の対応策を行うようにとの指導があったことから令和8年度に枯れ枝の除去と不要な支柱の撤去を予定している。
- ⑨市指定文化財阿多古山一里塚の防草対策について
- ・阿多古山一里塚では、接道箇所がないため更地の隣接地を借用して除草作業を行ってきた。
  - ・このたび、借用地に建築計画が挙げたことで今後、利用できないことから応急処置として防草シートを設置した。
- ⑩『磐田の文化財』（指定文化財冊子）の作成について
- ・市内の指定・登録文化財を紹介した冊子の作成を進めており、年度末に

刊行予定。

⑪大久保家関係資料の調査について

- ・関係資料には古文書と美術工芸品などがあり、坪井委員・杉山委員による指導を受けながら調査を実施した。
- ・大久保家資料はまだ全体の調査ができていないため、調査を継続する。委員からは市指定文化財に値するとの評価を受けているので、調査が完了した後、審議会で指定候補として挙げることを考えている。

⑫文化財啓発事業等実績について

- ・令和6年8月から令和7年3月までの普及啓発活動実績と事業予定を報告。

⑬文化財調査実績について

- ・令和6年8月から令和7年3月までに実施した有形・無形・埋蔵文化財調査実績を報告。

## 5 閉会